

リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

2019年3月期 第2四半期 決算補足資料



2018年11月12日

1. 2019年3月期第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)	11. 2019年3月期 業績予想 (P.17)
2. 決算サマリー (P.3)	12. 株主のための施策 ① (P.18)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	13. 株主のための施策 ② (P.19)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	IRに関するお問合せ (P.20)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	【補足】『RM財務格付』のご紹介 (P.21)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】クラウド型『決算書分析システム』のご紹介 (P.22)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】『「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ』のご紹介 (P.23)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連事業 業績 (P.9)	【補足】『Web給与明細』『J-MOTTOワークフロー』のご紹介 (P.24)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	
6. 連結貸借対照表 (P.12)	
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	
8. RM財務格付による財務分析 ① (P.14)	
9. RM財務格付による財務分析 ② (P.15)	
10. 企業理念と長期ビジョン (P.16)	

1Q

2Q

- ▶ リスクモンスター・グループ(リスモン・マッスル・データ株式会社、日本アウトソース株式会社)事務所移転
- ▶ eラーニング
『キャリアデザイン』シリーズ3コース 提供開始
- ▶ 財務分析に特化した『RM財務格付』改良
- ▶ J-MOTTO(ジェイモット)のオプションサービスである「Web給与明細」及び「J-MOTTOワークフロー」を個別サービスとして提供開始
- ▶ eラーニング
『社会人基礎力 チームで働く力』シリーズ2コース 提供開始
- ▶ 格付ロジック改定

- ▶ クラウド型『決算書分析システム』提供開始
- ▶ eラーニング
『基礎から始めるOffice』シリーズ3コース提供開始
- ▶ 商談管理・日報管理システム『ハッスルモンスター』スマートフォンアプリ提供開始
- ▶ eラーニング
『ロジスティクス・オペレーション』シリーズ3コース 提供開始

リスモン調べ 調査結果発表

- ▶ 第7回 お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業
- ▶ 第5回 離婚したくなる亭主の仕事
- ▶ 第8回 この企業に勤める人と結婚したいランキング

リスモン調べ動画

- ▶ 第1弾 この企業に勤める人と結婚したいランキング
- ▶ 第2弾 就職したい企業・業種ランキング

リスモン調べ 調査結果発表

- ▶ 第6回 金持ち企業ランキング
- ▶ 第9回 格付ロジック改定によるRM格付変動の影響
- ▶ 第4回 大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング
- ▶ 第5回 100年後も生き残ると思う日本企業

リスモン調べ動画

- ▶ 第3弾 仕事・会社に対する満足度
- ▶ 第4弾 離婚したくなる亭主の仕事

リスモン業界レポート

- ▶ 機械器具小売業
- ▶ 職業紹介・労働者派遣業
- ▶ 情報通信機械器具製造業

リスモン業界レポート

- ▶ 繊維工業
- ▶ 織物・衣服・身の回り品小売業
- ▶ 広告業

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増 減	前期比
売上高	1,423,246 千円	1,471,991 千円	48,744 千円	103.4 %
営業利益	218,364 千円	250,205 千円	31,840 千円	114.6 %
経常利益	225,893 千円	255,189 千円	29,295 千円	113.0 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	142,609 千円	156,750 千円	14,140 千円	109.9 %
1株当たり四半期純利益(EPS)	36.65 円	40.60 円	3.95 円	110.8 %
会員数	10,920 ID	11,622 ID	702 ID	106.4 %
自己資本四半期純利益率(ROE)	3.4 %	3.6 %	0.2 ポイント	105.9 %

(注) ROEは第2四半期(6か月間)の業績で算出

◆ 売上高

会員数が増加したこと等から、主力の与信管理サービス及び教育関連事業の売上高が増加し、BPOサービスの売上高が減少したものの、前期を上回りました。

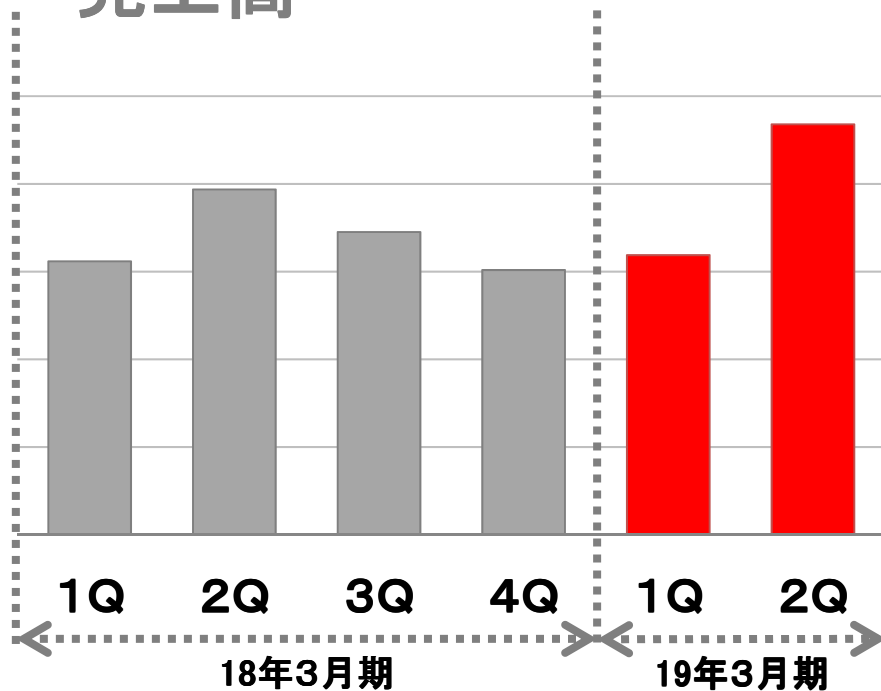
◆ 利益

新規会員獲得や、サービス拡販のための体制強化に注力するため、コールセンターの増員やWebマーケティングを強化し、また、BPOサービスがセグメント損失となったものの、利益率の高い主力の与信管理サービス等の売上高が増加したこと等により、前期を上回りました。

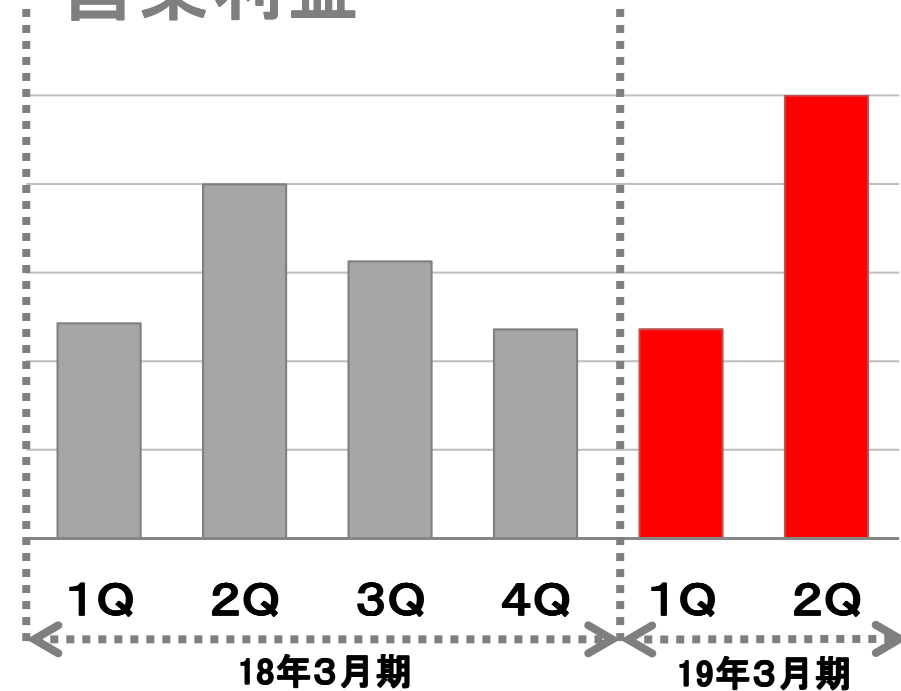
(単位：千円)

	2018年3月期				2019年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	687,027	736,219	707,072	681,077	691,261	780,730
営業利益	82,508	135,856	106,304	80,189	80,268	169,936

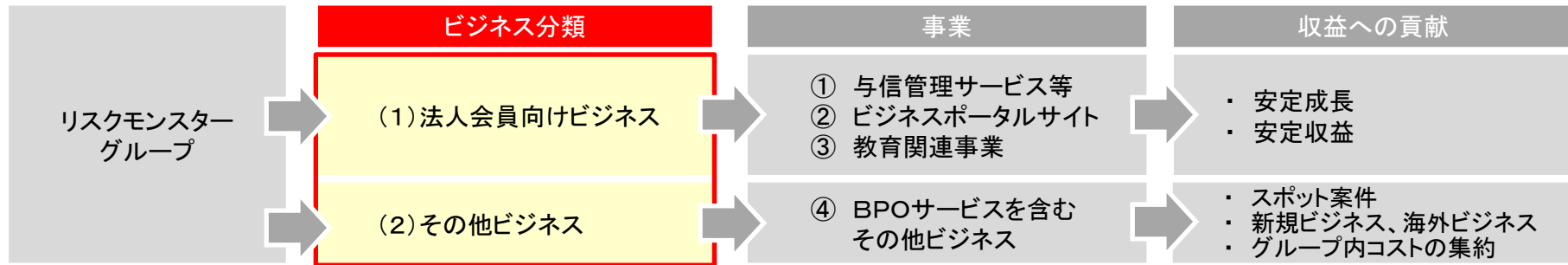
売上高



営業利益



リスクモンスターグループ ビジネスモデル

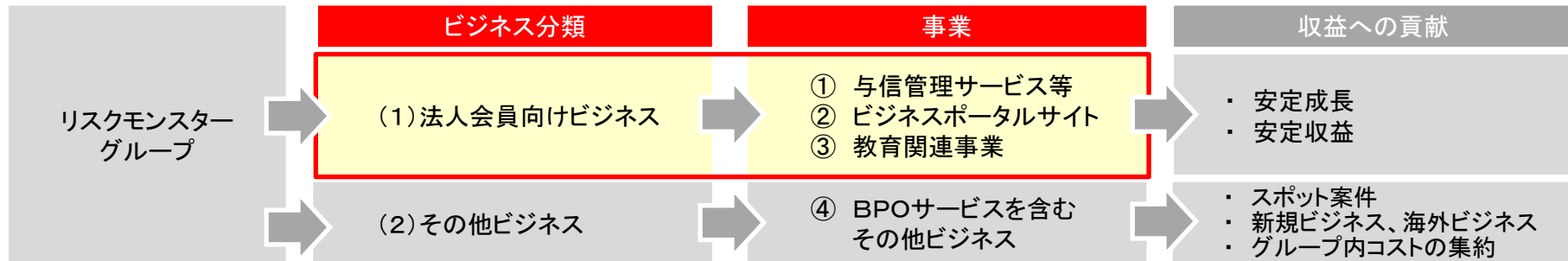


(単位：千円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	1,249,804	1,318,261	68,456	105.5%
(2) その他ビジネス	249,724	227,537	△22,186	91.1%
売上高 計	1,499,529	1,545,799	46,270	103.1%
(1) 法人会員向けビジネス	264,303	311,313	47,010	117.8%
(2) その他ビジネス	△10,510	△24,495	△13,984	—
利益 計	253,793	286,818	33,025	113.0%

(注) 売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



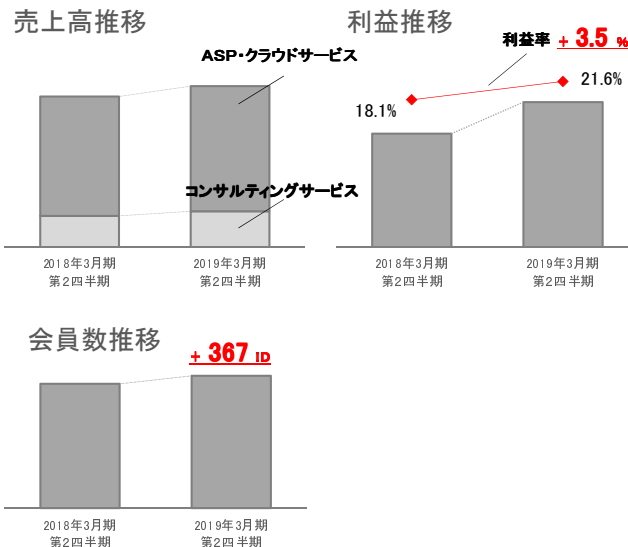
(単位 : 千円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
①与信管理サービス等	897,043	958,647	61,603	106.9%
②ビジネスポータルサイト	282,409	279,577	△2,832	99.0%
③教育関連事業	70,351	80,037	9,685	113.8%
(1) 法人会員向けビジネス売上高計	1,249,804	1,318,261	68,456	105.5%
①与信管理サービス等	162,226	207,382	45,156	127.8%
②ビジネスポータルサイト	94,029	87,538	△6,491	93.1%
③教育関連事業	8,047	16,393	8,345	203.7%
(1) 法人会員向けビジネス利益計	264,303	311,313	47,010	117.8%
会員数 (ID)	10,374	11,002	628	106.1%

(単位：千円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	711,294	745,807	34,513	104.9%
コンサルティングサービス	185,748	212,839	27,090	114.6%
売上高 計	897,043	958,647	61,603	106.9%
利益	162,226	207,382	45,156	127.8%
会員数 (ID) (注)	5,683	6,050	367	106.5%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む



◆ 売上高

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が堅調だったことに伴い、前期を上回りました。また、コンサルティングサービスは、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスと金融サービス等を含むその他サービス共に好調だったことから、与信管理サービス等全体で、前期を上回りました。

◆ 利益

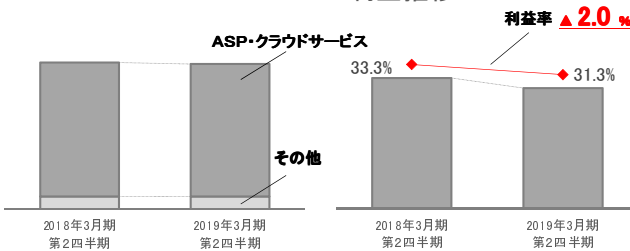
新規会員獲得やサービス拡販のためにコールセンターの増員を行ったものの、売上高が増加したこと等により、前期を大きく上回りました。

(ご参考) 利益率 (前期) 18.1% → (当期) 21.6%

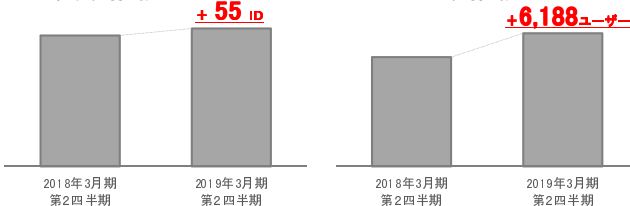
(単位：千円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	258,365	255,301	△3,064	98.8%
その他	24,043	24,275	231	101.0%
売上高 計	282,409	279,577	△2,832	99.0%
利益	94,029	87,538	△6,491	93.1%
会員数 (ID)	3,033	3,088	55	101.8%
ユーザー数	128,204	134,392	6,188	104.8%

売上高推移



会員数推移



◆ 売上高

会員数及びユーザー数が増加したものの、ディスク容量の利用が減少したため、売上高合計はほぼ前期並みとなりました。

◆ 利益

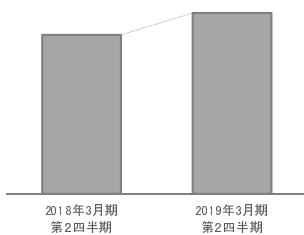
利益率の高いディスク容量の利用が減少したこと、新規会員獲得やサービス拡販のために、お客様をサポートするコールセンターを増員したこと、Webマーケティングを強化したこと等により、前期を下回りました。

(単位 : 千円)

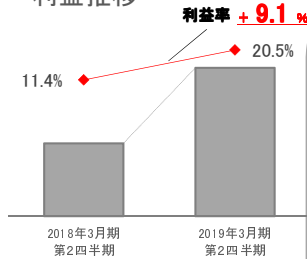
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高 計	70,351	80,037	9,685	113.8%
利益	8,047	16,393	8,345	203.7%
会員数(ID) (注)	1,658	1,864	206	112.4%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」を利用できる会員の合計

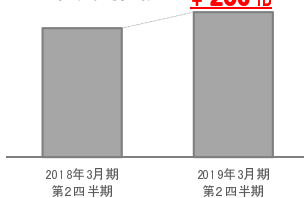
売上高推移



利益推移



会員数推移



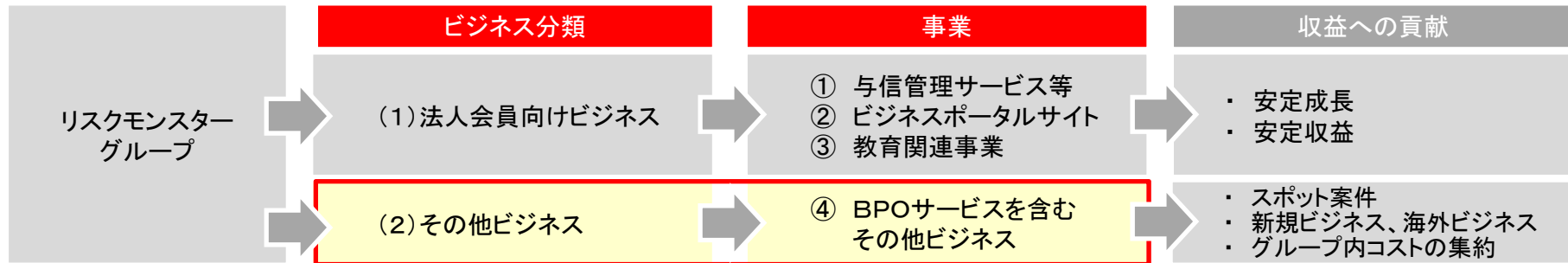
◆ 売上高

教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,864会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、労働者派遣法の改正により社員教育強化のニーズが高まり、好調に推移したことにより、前期を上回りました。

◆ 利益

売上高増加が寄与し前期を大きく上回りました。

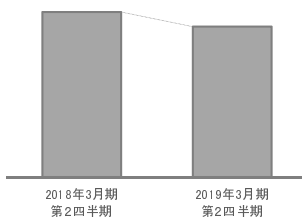
リスクモンスタースタグループ ビジネスモデル



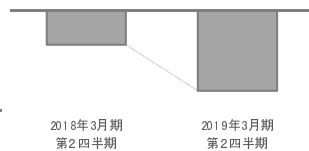
(単位：千円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
(2) その他ビジネス売上高計	249,724	227,537	△22,186	91.1%
(2) その他ビジネス利益計	△10,510	△24,495	△13,984	—

売上高推移



利益(損失)推移



◆ 売上高

BPOサービスは、利益率の高い既存案件の売上高が減少し、前期を下回りました。また、当社グループ商材を海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は620会員となりました。

◆ 利益

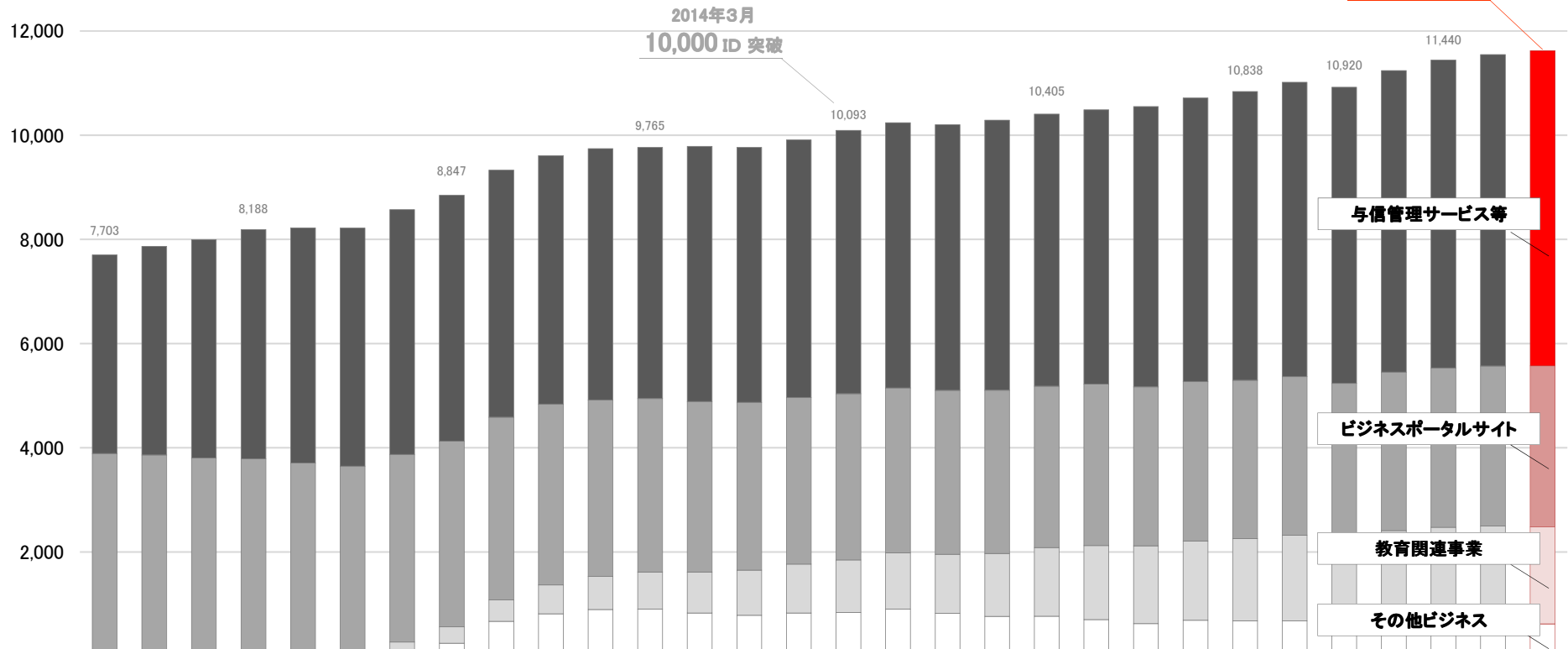
売上高減少によりセグメント損失となりました。



5.会員数推移(四半期)

(単位 : ID)

11,662 ID



	2011年			2012年				2013年				2014年				2015年				2016年				2017年				2018年		
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月				
与信管理サービス等	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097	5,182	5,223	5,267	5,379	5,446	5,541	5,650	5,683	5,789	5,907	5,979	6,050
ビジネスポータルサイト	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147	3,134	3,098	3,096	3,051	3,057	3,039	3,042	3,033	3,041	3,058	3,068	3,088
教育関連事業	-	-	-	-	-	-	272	315	411	553	633	710	788	866	940	1,008	1,079	1,132	1,207	1,316	1,422	1,493	1,522	1,578	1,647	1,658	1,772	1,825	1,845	1,864
その他ビジネス(注1)	-	-	-	-	-	-	-	248	670	814	897	905	828	786	828	839	905	824	765	768	702	626	690	680	676	546	639	650	656	620
会員数計(注2)	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093	10,240	10,200	10,288	10,405	10,487	10,549	10,715	10,838	11,015	10,920	11,241	11,440	11,548	11,622

(注1) 中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員

(注2) 重複登録している会員を含む

(単位：千円)

	2018年3月期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,416,843	2,498,391	81,548	103.4%
固定資産	2,863,155	3,003,188	140,033	104.9%
資産合計	5,279,998	5,501,580	221,581	104.2%
流動負債	445,736	482,439	36,703	108.2%
固定負債	476,819	495,759	18,939	104.0%
負債合計	922,555	978,198	55,643	106.0%
純資産	4,357,443	4,523,382	165,938	103.8%
負債・純資産合計	5,279,998	5,501,580	221,581	104.2%
自己資本比率	81.3%	81.0%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	1,103.29円	1,149.81円	46.52円	104.2%

自己資本比率は81.0%と高水準を維持しております。

(単位：千円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前期比
営業活動	151,278	315,222	163,944	208.4%
投資活動	△172,545	△122,507	50,037	71.0%
財務活動	△183,691	△129,556	54,134	70.5%
現金に係る換算差額	375	△799	△1,174	—
現金増減額	△204,583	62,358	266,942	—
現金期末残高	1,825,784	1,875,104	49,320	102.7%

◆営業活動

税金等調整前四半期純利益	247,600
減価償却費	151,209
売上債権の増加額	△67,669
法人税等の支払額	△60,269

◆投資活動

有形固定資産の取得による支出	△33,597
無形固定資産の取得による支出	△120,927

◆財務活動

自己株式の処分による収入	13,590
配当金の支払額	△58,002
自己株式の取得による支出	△54,644
長期借入金の返済による支出	△30,080

リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】

2019年3月期
第2四半期



【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

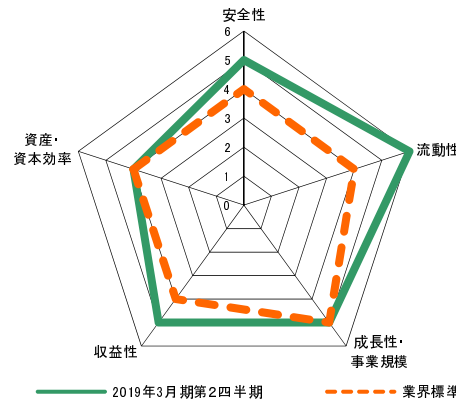
【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

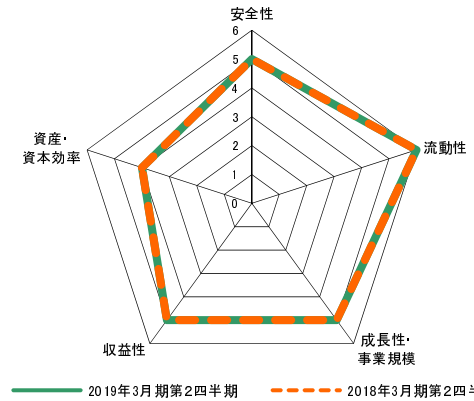
【RM財務格付履歴】

2019年3月期 第2四半期	2018年3月期	2017年3月期	2016年3月期
a	a	a	a
2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期
a	a	a	a
2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2019年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆ 2018年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆	流動性	2019年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆ 2018年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆
自己資本比率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	流動比率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
実質自己資本比率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	当座比率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
借入金利率	☆☆☆☆	☆☆☆☆	現預金回転期間	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
借入返済年数	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	手形割引率		
収益性	2019年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆ 2018年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆	成長性・ 事業規模	2019年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆ 2018年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆
売上高経常利益率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	売上高増減率	☆☆☆☆	☆☆☆☆
経常収支比率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	売上高規模	☆☆☆☆	☆☆☆☆
ROA(総資産利益率)	☆☆☆	☆☆☆	経常利益増減率	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
資産・ 資本効率	2019年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆ 2018年3月期 第2四半期 ☆☆☆☆	☆☆☆☆ ☆☆☆☆	※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。 ※☆☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。 ☆が表示されない項目は、評価対象外です。 評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。 ※ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。		
売掛債権回転期間	☆☆☆☆	☆☆☆☆			
棚卸資産回転期間	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			
総資産回転率	☆☆	☆☆			

総合評価	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2019年3月期第2四半期連結決算におけるRM財務格付は、a～fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

なお、RM財務格付については、2018年6月に格付ロジックの改定並びに格付標記の変更を行い、従来の「Ⅰ～Ⅳ」の4段階表記から、「a～f」の6段階表記に変更している。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、業績が順調に推移したことに伴い、純資産額は2018年3月期に比べ、約165百万円の積み上げとなった。自己資本比率としては、前期81.3%から81.0%に0.3ポイント低下したものの、高い水準を維持している。

借入金に関しては、2018年3月期から約30百万円の減少となり、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も1年以内に収まっているなど、安全性に関しては、依然として非常に高い水準となっている。

流動性に関しては、現預金は前期から約62百万円増加し、現預金回転期間7.6か月（前期7.7か月）、流動比率517.9%（前期542.2%）、当座比率501.8%（前期514.0%）と、高い水準を維持しており、引き続き十分な資金余力を有している。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比103.4%の増収推移となっている。これは、与信管理サービスを中心に法人会員向けビジネスが堅調に推移したことによるものである。

また、利益面においても、売上高経常利益率は15.9%（前年同期）から17.3%（当期）へ、売上高四半期純利益率では、10.0%（前年同期）から10.6%（当期）へと高い水準を維持しつつ、更なる向上となった。

収益効率は、非常に高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン RismonG-20 策定（2016年～2020年）

[キーワード]

一人前の会社になる

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画(2016年～2018年度)」 全体的な基本方針

①事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

②投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

③資本業務提携

当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

④株主還元

配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。



11.2019年3月期 業績予想



(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2019年3月期 予想	差 額	進捗率
売上高	1,471	2,950	1,478	49.9%
営業利益	250	430	179	58.2%
経常利益	255	430	174	59.3%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	156	270	113	58.1%
1株当たり 当期(四半期)純利益(EPS)	40.60円	69.82円	29.22円	58.1%

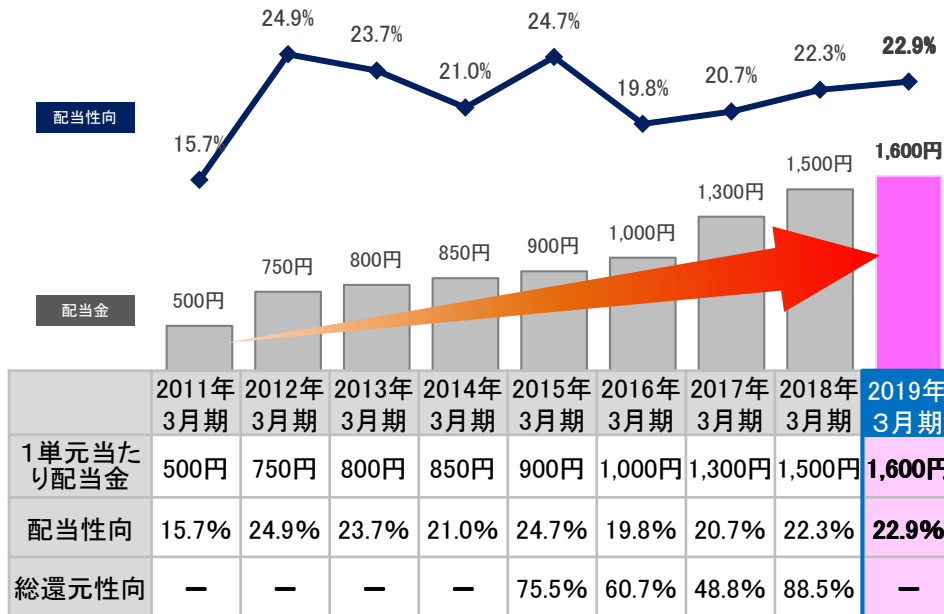
売上高はほぼ当初の予定どおり、利益は当初の予定を上回りました。

※ 2016年4月にスタートした長期ビジョン「RismonG-20」および、そのマイルストーンである「第5次中期経営計画(2016~2018年度)」の利益計画を達成すべくグループ一丸となって取り組んでまいります。

※ 現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

株主還元

- ◆ 2019年3月期は当初の予定通り1单元当たり1,600円（1株当たり 16.0円）の配当予定です。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指します。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標といたします。



(注) 1单元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただき、株主優待を実施いたします。

当期は、当社キャラクター「リスモング」をモチーフとしたオリジナル商品を選択肢に加えさせていただきました。



保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有株式数			
300株	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

第18回 定時株主総会

2018年6月26日に第18回定時株主総会と事業説明会を開催いたしました。

昨年に引き続き、株主総会と執行役員による事業説明会を実施いたしました。

昨年よりも多くの株主様にご来場いただき、活発な質疑応答が行われました。



< 第18回 株主総会の様子 >



1. 業界情報を活用した倒産予測事例
データ工場長 川本聖人
2. 事業説明
 - (1)与信管理事業 執行役員 小澤秀孝
 - (2)BPO事業/教育事業 執行役員 青井真之
 - (3)開発グループ 執行役員 奥山昌幸
 - (4)管理部門 執行役員 竹森順一

< 執行役員による事業説明会 >

リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる「リスモンちゃんねる」で当社のIR動画を配信しております。

また、各地の人生の達人の方などに「信用」をテーマに語っていただくインタビュー・シリーズのPR動画も配信しております。



IR動画



< リスモンちゃんねる 2018冬 撮影の様子 >

PR動画



< 人生の達人に聞く～あなたにとって信用とは？ >

お問い合わせ先

【IRに関するお問い合わせ】

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352

FAX : 03-6214-0431

Mail : ir@riskmonster.co.jp

【会社名】

リスクモンスター株式会社

<http://www.riskmonster.co.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

<http://www.outsource.co.jp>

サイバックス株式会社

<http://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<http://www.rismon.com.cn>



■ 財務分析に特化した「RM財務格付」の与信判断指標を改良

2018年6月17日より、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、財務分析に特化した「RM財務格付」の与信判断指標を改良いたしました。

2012年8月より提供しております「RM財務格付」は、決算書の分析に特化した倒産確率に基づく指標となっております。当サービスは定量分析を重視して取引先の信用評価をされている企業様で広くご活用いただいております。

この度、従来の「RM格付」ロジック改定と同時に「RM財務格付」の全面的な改良を行い、現在4段階で評価しているRM財務格付をRM格付と同様に6段階評価（小文字のa～f）に変更いたしました。

■ 「RM財務格付」の改定ポイント

1. 倒産確率の適時化

経済環境や景気動向の変化により、倒産のトレンドは常に変化しております。下表のとおり、2017年3月から2018年3月の1年間で比較しても、各財務指標における要警戒領域の倒産確率も変化が生じていることが分かります。これらの倒産トレンドの変化に対応するために、定期的に倒産実績の集計を行い、格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っております。

財務指標	水準	2017年3月	2017年9月	2018年3月
自己資本比率	10%以下	0.76%	0.74%	0.73%
借入返済年数	30年超	0.86%	0.79%	0.74%
増減収率	▲30%以上	2.24%	2.14%	2.05%

2. 定量分析の強化

安全性分析、収益性分析、成長性分析、資金繰り分析などの観点において、特に倒産の相関関係が強いと考えられる要素について見直しを行い、格付ロジックへ反映することで格付精度の向上を図ります。

3. 格付の6段階化（小文字のa～f）

ロジックの構成要素をRM格付ロジックに近づけ格付を細分化いたしました。また当社のアナリスト部門「データ工場」における日々の倒産分析、財務分析の研究結果として従来のロジックよりもさらに倒産と相関関係の高い要素を盛り込むことで、財務格付の精度が高まる見込みとなっております。

■ クラウド型『決算書分析システム』提供開始

2018年7月23日より、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、クラウド型『決算書分析システム』の提供を開始しました。

『決算書分析システム』は2000年の設立以来当社で蓄積してきた倒産分析のノウハウを基に財務分析に特化した決算書分析ツールです。

取引先より入手した決算書を活用しきれしていない、外部指標がない企業で判断に困っているという、与信管理担当者の強い味方となります。

■ 特長

1. 決算書の分析・評価

入力された決算書を基に「財務分析」を瞬時に実施し、「独自の与信管理指標(RM財務格付)」をご提供します。評価はa~fまでの6段階(※)です。財務分析の専門知識がない方にも、決算書をベースにした客観的な分析結果をご覧いただけます。※通常提供しているRM格付と異なります。

決算書、分析資料の出力



評価シート



財務分析シート



決算書

2. 様々な決算書の形式を統一化

入手した決算書毎の勘定科目を、自社の基準で変換し、統一したフォーマットに整えて保存することが可能です。一度設定した勘定科目の変換ルールは常時適用されますので、入手した決算書の勘定科目を毎回見直す必要がなく、入力に際し高度な会計知識は不要です。

3. 決算書入力作業の代行

ご要望により、決算書の入力代行をリスクモンスターグループで承ります。貴社内で保管されている紙媒体、データ形式の決算書情報の一括入力作業、または貴社営業活動のなかで随時入手する決算書の入力作業を万全なセキュリティ体制で代行いたします。

■ 商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ提供開始

2018年9月3日より、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、商談管理・日報管理システム『ハッスルモンスター』のスマートフォンアプリ(Android版)の提供を開始いたしました。

2017年10月より提供しておりますPC版商談管理・日報管理システム『ハッスルモンスター』同様に、日本の全企業(約460万社)の基礎情報を予め内蔵しており、取引先の登録が簡単に行なうことができます。またスマートフォンでの操作性を配慮したシンプルなつくりとなっておりますが、PC版同様の機能を兼ね備えており、営業情報の共有や、属人的な営業からの脱却、煩雑な報告書管理からの解放を図るなど、効率的な営業活動を実現していただくことができます。

■ 特長

1. 顧客登録や顧客管理が簡単

法人登記されている日本の全企業の基礎情報(約460万社)が内蔵されており、取引先を検索すると候補が自動表示されるため、取引先候補の企業リストを予め準備する手間と時間が削減できます。また、法人番号(法人マイナンバー)を通じて、取引先の重複がなく管理することが可能です。基礎情報は適時メンテナンスをしていますので情報鮮度が保持されています。

2. 商談管理と日報管理に特化したシンプルなインターフェース

商談管理や日報管理に必要な機能である「いつ、誰が、誰と、何の商談をして、見込の確度はどうか」を記録・共有・集計する機能を搭載しています。使用頻度の高い機能のみを限定して搭載しているため、非常に使いやすいツールとなっております。また、商談の進捗把握が容易なため、関係者間での情報共有により担当者へ適切なアドバイスが集まりやすくなり、ムダのない営業活動が行なえます。

■ 画面イメージ



『Web給与明細』『J-MOTTOワークフロー』 個別サービス提供開始

2018年6月1日より、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOのオプションサービスである「Web給与明細」「J-MOTTOワークフロー」について、サービスの個別利用提供を開始いたしました。

基本サービス(グループウェア)をお申込みいただく必要なく、「Web給与明細」または「J-MOTTOワークフロー」をご利用いただくことができます。

Web給与明細 特長

ポイント① 明細データ発行とメール通知機能

給与明細、賞与明細、源泉徴収票のデータをアップロードするだけで、明細を簡単発行できます。データをPDF形式で閲覧・保持でき、公開時に通知することができます。メールに添付して自動配信も可能です。

ポイント② 役職、雇用形態等によって異なるフォーマットにも対応

役職や雇用形態によって給与明細の項目が異なる場合にも、明細のフォーマットを柔軟に変更できます。

ポイント③ 過去の明細を含め、いつでもPC・携帯から閲覧

会社・自宅のパソコン、携帯電話、スマートフォンなどで自分の明細を確認することができます。また明細はPDFでダウンロードすることができます。

J-MOTTOワークフロー 機能一例

ポイント① 申請書の代理作成や不在時の代理承認が可能

忙しい申請者の代わりに申請することができます。また、申請書を下書き準備しておくこともできます。

ポイント② 承認印を自由に設定

日頃使っている印鑑の画像をスキャンして取り込み、オリジナルの承認印として使うことができます。



承認印登録画面

ポイント③ 申請書の一括印刷や一括ダウンロードにも対応

保存されている申請書を検索して、CSVファイル形式で一括出力することができます。